

地域みんなでまちづくり 自治会・行政区活動に参加しませんか

企画課みらい創生係 ☎028(677)6012

少子高齢化や生活様式の変化を背景に、住民の交流機会の減少や連帯感の希薄化が進んでいます。身近な地域への関心が薄れることにより、地域の安全性や住みやすさが損なわれることが危惧されています。

そうした中、自治会・行政区は、地域の特性に合わせ、さまざまな役割を担います。地域をより良くするため、何かが起こった時に備えるため、町民自らが参画し活動していきましょう。

自治会・行政区とは

地域住民相互の連帯のもと、地域の福祉・環境・防災・防犯など、地域課題の解決に取り組む住民自治組織のことです。安全で住みやすい地域の形成や「つながり」の醸成を図っています。

防災活動



地区防災計画策定会議（東高橋自治会）

災害時には、自治会ごとに組織された自主防災組織が大きな力を発揮します。最も身近なコミュニティとして、防災活動を支えます。

健康づくり活動



健幸塾（西高橋自治会）

地域ぐるみで健康づくりを行なっています。尿中塩分量、血管年齢などの測定、ウォーキングイベント、適塩食の試食などにより、健康意識向上を図っています。

レクリエーション活動



お正月飾りづくり（与能自治会）

各種レクリエーション活動、イベントなどを行っています。子どもから年配者まで、世代を超えた交流の場を設けています。

環境美化活動

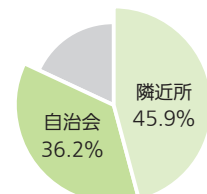


花植え（上給自治会）

花の植栽や地域のごみステーション管理などを行っています。地域の環境美化に加え、地域の交流イベントになっています。

東日本大震災では、行政による「公助」に加え、地域住民による助け合い「共助」が大きな力を発揮しました。栃木県が県民を対象に行ったアンケート調査では、地域住民間の助け合いが可能な範囲について、45.9%が隣近所、36.2%が自治会と回答しており、自治会を中心とした身近な地域での協力体制の構築が重要となっていることが分かります。

住民同士、助け合える範囲



※栃木県地域福祉に関するアンケート

各地区の自治会長を紹介します（敬称略）

◎：自治会連合会会長 ○：自治会連合会副会長

住み慣れた地域で「安心して健康に」暮らしていけるよう、町と協議して地域の実情に合った「地区防災計画」の策定や健康づくりを推進します。町と連携し、人と人がつながり続ける地域コミュニティの形成を目指します。



下延生自治会
◎手塚 真



芳志戸自治会
○黒崎 浩一



東水沼自治会
○有坂 隆志



祖母井自治会
君島 俊一



稲毛田自治会
添田 壯



上延生自治会
関本 一雄



与能自治会
黒崎 静夫



下高根沢自治会
小松崎 邦彦



下原新町自治会
高岡 右



ハツ木自治会
尾嶋 昌之



上給自治会
佐藤 伸一



西水沼自治会
塩田 秀樹



東高橋自治会
水沼 一彦



西高橋自治会
高野 英夫

※下高根沢自治会は、南部の会長が3自治会の代表として自治会連合会に参加しています。

黒崎 貴司(北部) 沼能 寿之(中部)



見守りのぼり旗掲揚



サツマイモ掘り(東水沼自治会・保全会・子ども会育成会)



防災訓練（下原新町自治会）



芳賀東小学校への交通安全横断幕等寄贈(祖母井自治会)



三世代交流オリエンテーリング(下延生スポーツ協会主催・下延生自治会協力)



自治会連合会から町へ町民主体のまちづくり要望書提出